

ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	里山再生よこはま森のアトリエ
現在の主な活動 内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査、メンバー同士のコミュニケーション、勉強会 ・整備方針について森林専門家との意見交換、生物多様性調査 ・草刈り、駐車スペース整備、不法投棄ゴミ・倒木等の撤去
提案場所	旭区 上白根町
提案名 (25字以内)	樹木医と目指す、荒れた里山を整備・活用して次世代へ
提案する施設（ど のような施設の提 案ですか）	<p>◆横浜市内の私有地約6500平方メートルの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域のため数十年にわたり放置された山林、農地を整備して、多様性のある美しい自然環境を保全する。 ・活動を通して多彩なアイデアが生まれるコミュニティの場とする。 ・緊急時の避難場所とする（井戸、バイオトイレ、機材使用可） ・整備後は地域住民およびメンバー、協力者、参加者共有の財産としてシェアし、有効に活用する。 <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 500 万円</p>
活用イメージ（提 案する施設でどの ようなことを行い ますか）	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木医、林業従事者の研修場所として利用。森づくりに関わる人材の学びの場であると同時に、広く市民へ森の魅力を伝える場とする。 ・広場ゾーン（林内が明るく子供から大人までが遊べる）、里山ゾーン（シイタケ栽培や薪作り）、冒険ゾーン（ツリークライミング）、保護ゾーン（手付かずの状態経過を見る）などに分け、ゾーニングのサンプルとし、真の意味での森づくりの指標となるものにする。 ・自然と共にある暮らしを楽しむアイデアやライフスタイルを提案するワークショップ、セミナー等を開催する会場とする。 <p>例) ツリークライミング、森ヨガ、植物の香りセミナー、クラフトワークショップ、山仕事体験、ハンモックで昼寝 等</p>
提案の背景（なぜ 提案をするのか、 地域のニーズや課 題、生かしたい地 域の魅力等に触れ て説明してくださ い）	<p>●自力では山の手入れができない地主 ●荒れ放題の山をなんとかしてほしい地域住民（苦情あり） ●自然を活用したい人、活動拠点が欲しい人</p> <p>⇒ 三者がハッピーになれる方法を模索する。</p> <p><地域の課題></p> <p>環境：放置され荒廃した里山はCO2削減や治水・災害対策としての力が弱まる。景観が悪い、蚊が多い、草や倒木が道路に進出する、ゴミの不法投棄がある、暗く見通しが悪いので治安が心配。</p>

	<p>ひと：コミュニティの断絶。地権者は高齢化が進み、相続者は離れた場所に住んでおり、若い層や新たな住民との間に交流が少ない。里山を中心とした文化が継承されず、その価値が認識されにくい。</p> <p><地域の魅力> 市街化調整区域に指定されていたため、首都圏近くでありながら、手付かすの里山が残されている。</p>
<p>目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が自ら考え、試行錯誤し、身近な自然を楽しむライフスタイルを実践できる場所。 ・そこに行けば楽しそうなことがあり、ひとの交流があり、経済活動（貨幣が介在するとは限らない）が生まれる場所。 ・地域の資源を守り、活かしながら、それを次世代に伝える仕組みを作り、他の地域の同様の課題解決のモデルケースとなる。
<p>整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<p>ひと：地域で活躍する森林整備や樹木医グループとの協働により、専門家の意見を聞きながら整備計画を立て、作業をすることができる。同時に、これからの森林保全を担う人材の育成の場とする。</p> <p>もの：緑化機材を扱う地元会社の協力により、整備に必要な機材の貸与を受けることができる。同時に、新商品の説明会や安全講習会イベントを行い、広く地域住民にも里山についての理解を周知する場とする。</p>
<p>運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーに横浜市の小学校教員がいること、セミナーやイベントを楽しみにする地域住民も多いことから、断絶していた多世代間交流が期待できる。 ・ワークショップやセミナーでの実績を持つメンバーがいることから、企画・運営がスムーズに行われると考えられる。 ・働き方改革により時間に余裕のできたメンバーの子ども世代の参加により、次世代へ活動の継承が期待できる。
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください。</p>	<p>横浜国立大学環境学部の研究チームが整備の前後で生物多様性についての学術調査を行う。同じ場所で整備前後の調査例は少ないので、貴重なデータとなるはずである（整備前調査は2018年10月に実施済）。</p> <p>樹木医による現地調査で、植林が行われていないブナを中心とした広葉樹林で、タケやササに奥深くまでは浸食されていない貴重な里山であることがわかった。樹齢50年のケヤキをシンボルツリーとした。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ひと」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

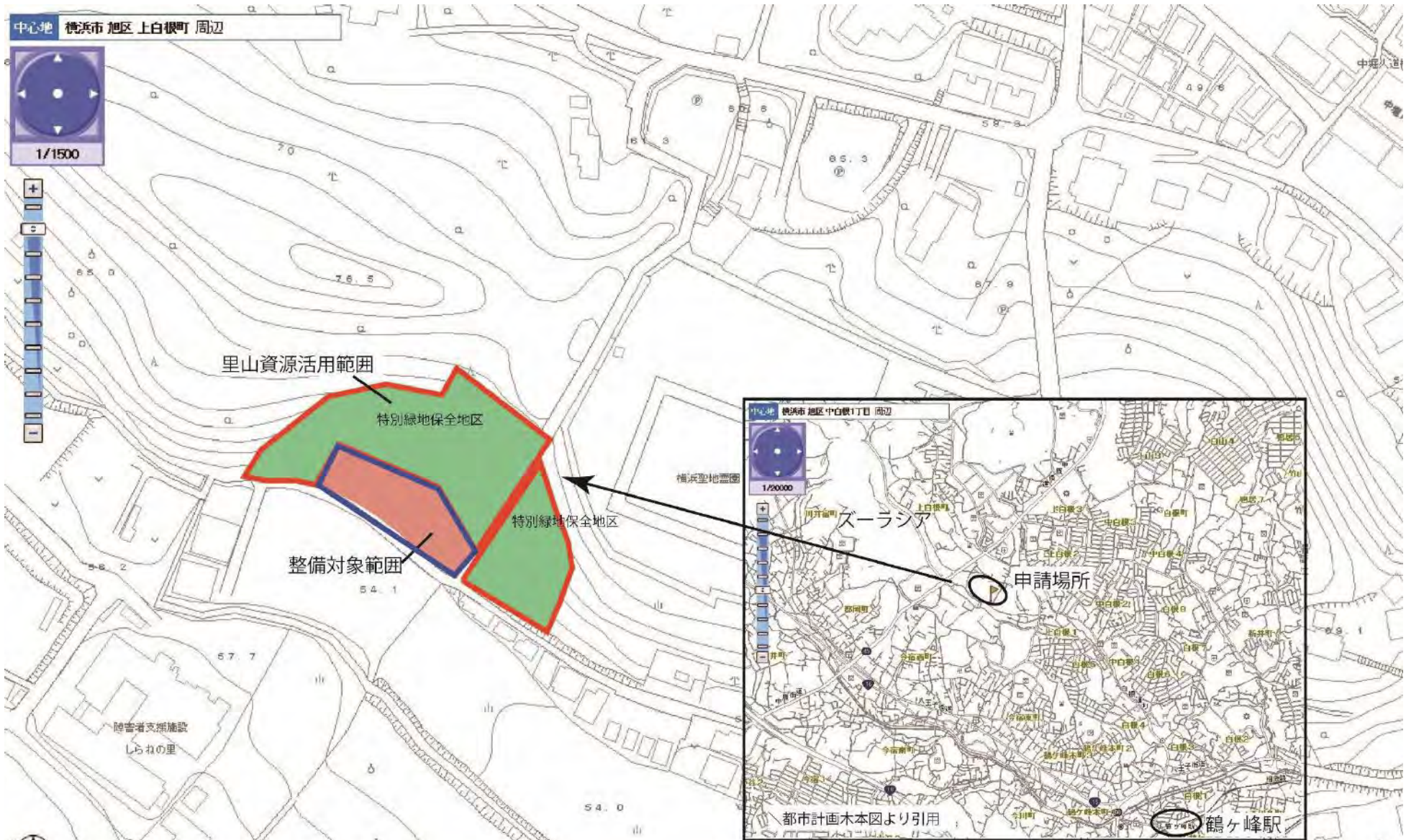
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
整備場所の地権者	活動の協力者として参加

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

中心地 横浜市 旭区 上白根町 周辺

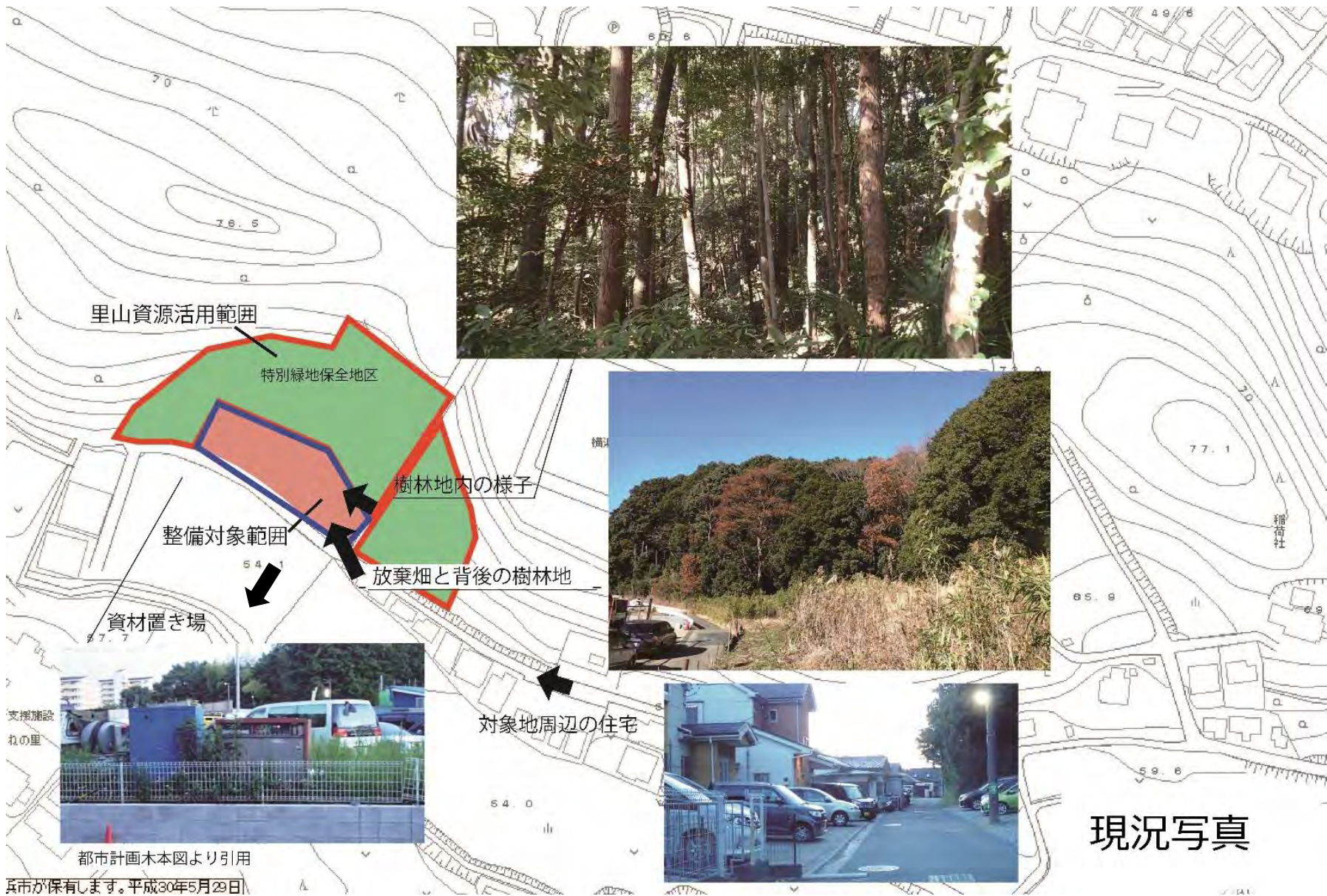


都市計画木本図より引用

この地図の著作権は横浜市が保有します。平成30年5月29日

上白根地区活動位置図





活用イメージ



森林整備研修



森ヨガ

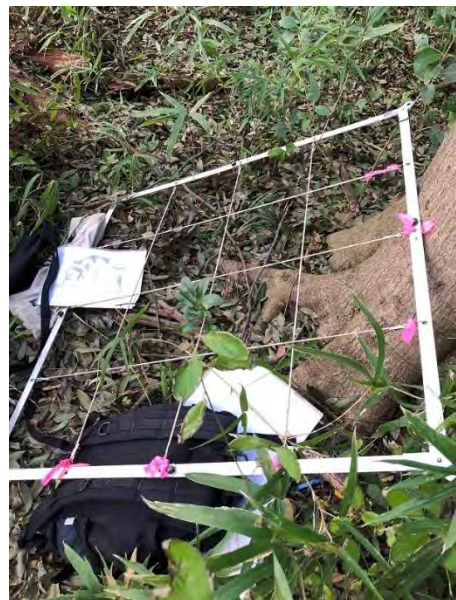


ツリークライミング



森の恵みワークショップ

その他資料：活動記録



2018.10 生物多様調査



2020.3 - 8 整備作業

